

令和3年度 沖縄県平和創造の森公園指定管理者制度運用委員会について

1. 開催日時・場所

- 1) 日時：令和3年7月28日（水）14：00～16：00
- 2) 場所：沖縄県教職員共済会館八汐荘 小会議室

2. 出席状況

委員：張本文昭 委員長、神谷繁 委員、樋口純一郎 委員、並河善知 委員

事務局：環境再生課 課長 久高直治
班長 中村智恵子
主査 富山裕一郎
主任 島袋恵一

オブザーバー（指定管理者）：沖縄県森林組合連合会 金城敏、渡嘉敷通世、宮崎悠

3. 対象

令和2年度モニタリング実施結果

4. 検証内容

- (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切になされているか。
- (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか。
- (3) コロナ禍における取組として指定管理者や県の対応は適切に行われているか。

5. 検証方法

- (1) 事務局（環境再生課）によるモニタリング実施結果の報告
- (2) 質疑・意見（各委員からの質疑等に対し、事務局及び指定管理者から回答）

6. 議事の概要（主な意見）

【コロナ禍における取組について】

- (1) 個人や家族単位をターゲットとしたイベントや企画の取組強化について検討する必要がある。
- (2) 一般県民感情として、屋外施設である広い公園の駐車場まで閉鎖することには疑問を感じるものであり、配慮願いたい。
- (3) 公園において、県民にとってモデルとなるようなコロナ対策の取組があるとよい。

【利用実績について】

- (1) オンラインイベントによる参加者を公園利用者として評価するような発想も今後検討されたい。

【マヤーアブについて】

- (1) 過去マヤーアブを利用していた学校等に向けて、マヤーアブのオンラインによる体験の提供を行うとよい。

- (2) マヤーアブのオンラインによる体験については、可能な限り「壕に入る」という体感を意識してもらいたい。

【自主事業について】

- (1) 体験を共有するための物品を参加者に送りつつ、オンライン動画配信によりイベントを実施するなどの取組事例がある。参考にするとよい。
- (2) 自主事業の年間計画を Facebook やチラシなどでまとめて周知することを検討されたい。

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県平和創造の森公園	対象年度	令和2年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1. 維持管理業務	1
(1) 清掃		1
(2) 保守・点検		1
(3) 保安・警備		1
(4) 小規模修繕		2
(5) 備品購入		2
(6) 防犯・防災対策		2
(7) 料金徴収業務		3
(8) 植栽管理(基本協定10条(3)②)		3
2. 運營業務	4
(1) 利用実績		4
1) 利用者数等		4
2) 施設稼働率		5
(2) 運営企画		6
(3) 受付・接客		6
(4) 広報		6
(5) 情報管理		6
3. 自主事業	7,8
II. サービスの質の評価	 9
1. 維持管理業務		9
2. 運營業務		9
3. 自主事業		10
4. 総合評価		10
III. サービスの安定性評価(財務状況)	 11
1. 事業収支		
(1) 収入		11
(2) 支出		11
2. 経営分析指標		12
IV. 総合評価	 13
1. 目標		13
2. 評価結果		13

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県平和創造の森公園	対象年度	令和2年度
指定管理者	沖縄県森林組合連合会 指定期間:平成30年4月～(平成35)令和5年3月	所管課	環境部 環境再生課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉 園内施設の清掃に係る作業員を配置(兼務含む)し、園内施設を適正に管理し快適な環境を作る。 [事業計画書]	○	×	管理作業員及び事務補助員が兼務で清掃作業に従事。 管理作業員が定期的に清掃を行うほか、事務補助員も適宜清掃を行っている。	事業報告書及び現場視察にて実施確認。	R2年度7月より事務補助員を新規採用し、業務の効率化を図っている。 管理作業員と事務補助員がそれぞれ清掃作業を兼務することで、必要な清掃員分の役割を補っている。	適正に実施されており、実施回数も妥当である。また、美化・清掃点検簿についても整備された。今後も適切な衛生管理に努める必要がある。
〈定期清掃〉 同上	○	○	トイレ等の定期清掃は週2回実施。 その他園内は適宜実施している。	事業報告書及び現場視察にて実施確認。		適正に実施されており、実施回数も妥当である。また、美化・清掃点検簿についても整備された。今後も適切な衛生管理に努める必要がある。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設の安全点検を毎日行い、来園者の安全対策を徹底する。 万が一事故が発生した場合は救護や応急措置が迅速にとれるように緊急連絡体制を徹底する。 [事業計画書]	○	○	遊具施設は、1日2回巡回点検を実施 トイレ施設は、毎日巡回点検実施 汚水処理点検は東側浄化槽年4回 西側浄化槽月2回実施 電気施設の点検は2ヶ月に1回実施	事業報告書及びその他関係書類にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	適正に実施されており実施回数も妥当である。今後も適切な保守点検に努める必要がある。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
閉園後の公園施設及びお手植え木の管理に万全を期するため、夜間常駐警備を行う。特に、年末・年始及び慰霊の日など特別な日においては警備体制を強化する。 [事業計画書]	×	○	R2年度より警備人件費が高騰したため、機械警備主体に転換。赤外線センサー・カメラによる24時間体制の遠隔警備及び閉園後1日1回の巡回を実施。(年末年始及び慰霊の日についても同様)	センサー及びカメラの運転状況を確認。閉園後警備については、警備日誌にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後も安全な施設環境の保持に努める必要がある。

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(公園) 1件100万円未満の 修繕を実施(基本 協定に基づく)	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道漏水修繕 ・サッカーゴールポスト修繕補強溶接 ・ステンレス扉修繕 ・屋外スピーカー更新(4台) ・事務所窓の網戸取付け ・管理棟流し台更新 ・管理棟UHFアンテナ更新 ・浄化槽チェックバルブ更新 ・浄化槽調整ポンプ更新 ・鉄パイプ製簡易倉庫修繕 ・西側トイレタイル修繕 ・ピザ窯修繕 ・園内給水装置修繕6件 ・その他修繕(作業車整備、農作業車整備、農業機器)18件 金額: 2,096,992円	事業報告書、現場写真及び現場視察時に実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	利用者の安全性と利便性に配慮して修繕を行っている。 施設の修繕については、予算を考慮した上で、優先順位を付け計画的に実施する必要があるため、今後も県と連携し、相互に共通意識が持てるよう情報共有を図る必要がある。 H29年度末に作成した維持管理計画を確認し、計画的に修繕を行う。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要に応じ、予算の範囲内で購入	○	×	<ul style="list-style-type: none"> ・刈払機4台 ・ルームクーラー1台 ・その他農林機器1台 ・エアコンプレッサー1台 金額 223,300円	事業報告書及び現場視察時に納品を確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	今後も必要に応じ、優先順位、コストを考慮して備品の購入を行う必要がある。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
平常時は、防災意識を保持し、危機管理体制を確認するための避難・情報伝達等の防災訓練を年1回実施する。 同公園が海岸に隣接していることから、公園利用箇所別に対応した避難誘導マニュアルを作成する。 [事業計画書]	○	×	12/2に津波避難訓練を実施した。	事業報告書にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	避難誘導マニュアルは令和元年度に作成済み。今後も防災訓練を実施し、非常時に備える必要がある。

(7)料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
経理チェック体制 ●管理指導員等 ①設定された利用料金を基に、算定、確認し利用者から徴収。 ②管理指導員等は利用者リスト、利用明細を添付の上、徴収金を公園管理経理担当へ納入。 ●経理担当者 ③利用者リスト、利用明細との照合、確認を行うなど複数チェックを行った後、金融機関へ入金する。 [事業計画書]	○	×	事業計画書のとおり実施した。	毎月のモニタリング月報及び事業報告書にて実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後も適切な料金徴収業務に努める必要がある。

(8)植栽管理 [基本協定第10条(3)②]

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
園内施設の植生地等の維持管理に係る作業員を4名配置し、適正な維持管理により健全な植生を維持する。 [事業計画書]	○	○	植生の保育管理について、枯損木撤去や枝打ち、剪定を実施、公園内の整備を図るとともに、生育に適正な環境作りを心掛けている。 【エリア】 ○全国植樹祭記念の森 ○多目的広場 ○東側北 ○東側南 ○西側北 ○西側南 【作業項目】 ・芝・草刈り（乗用式/肩掛式） ・生垣花木剪定 ・薬剤散布 ・枝打ち ・施肥 ・枯損木撤去	事業報告書、現場写真及び現場視察時に実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	今後も園内各エリアの緑化・美化へ力を入れ、巡回点検による樹木への病害虫等の早期発見、予防保全に努め、引き続き快適な公園づくり、植栽管理業務を行う必要がある。

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

1. 維持管理業務 取組改善案	新たに事務補助員も拡充され、維持管理業務については概ね良好であるが、経年による施設の老朽化で修繕費の負担が大きい。今後とも、指定管理者による補修の優先付けを行い、適正な公園管理に努める。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

		R元実績	事業計画 (目標値)	R2実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
					前年比	計画比		
利用者数	個人利用者数	51,706	57,800	47,650	92%	82%	新型コロナの感染拡大に伴う臨時休園の影響により、昨年度から個人利用が減少した。 一方、通常開園した時期においては概ね増加しており、引き続きSNS等を利用して公園の周知を図り、利用者を増やしていきたい。	
	団体利用者数	多目的広場	4,911	4,500	2,865	58%	64%	新型コロナの感染拡大に伴う臨時休園や各種大会等のキャンセルの他、天候不良の影響により大幅減となった。 感染防止対策に十分に配慮し、引き続きSNS等を利用して団体利用の促進を図りたい。
		マヤーアブ	0	0	0			2018年度から洞内立入禁止
		その他	12,789	6,700	4,355	34%	65%	新型コロナの感染拡大に伴い、遠足等の行事及び大型イベントが中止となった影響から大幅減となった。 感染防止対策に十分に配慮の上、関係団体への呼びかけ・PR等の招致活動を強化し各種行事・イベントの復調を図りたい。
計		69,406	69,000	54,870	79%	80%	団体利用において新型コロナの影響が特に大きく、年間を通して利用が低調となっている。 感染防止対策も含めた取組強化が必要と考えられる。	
					評価(①利用状況)	C		

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

2) 施設稼働率

【①平日】

施設名	R元実績	事業計画 (目標値)	R2実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
多目的広場	7% (13/189)	—	0% (0/167)	—	—	—
マヤーアブ	—	—	—	—	—	—

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

—

【②土日祝日】

施設名	R元実績	事業計画 (目標値)	R2実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
多目的広場	50% (60/119)	—	58% (55/95)	—	—	—
マヤーアブ	—	—	—	—	—	—

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

—

【①+②合計】

施設名	R元実績	事業計画 (目標値)	R2実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
多目的広場	24% (73/308)	—	21% (55/262)	—	—	多目的広場は、土日のサッカーでの利用が最も多く、平日の稼働率は低い。天候や催事に左右されるため揺れ幅が大きい。サッカー以外の利活用にも訴求していきたい。
マヤーアブ	—	—	—	—	—	

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

—

※稼働率=各施設の利用実績/開園日

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S: 110%以上

A: 100%以上、110%未満

B: 80%以上、100%未満

C: 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開園日数〉	262	262	規定通りに実施	新型コロナの感染拡大に伴う臨時休園は、4月、5月、8月、9月に実施し、合計51日(平日31日、休日20日)となった。
〈開園時間〉	(夏期)4～8月 9:00～18:30 (冬季)9～3月 9:00～17:30	(夏期)4～8月 9:00～18:30 (冬季)9～3月 9:00～17:30	規定通りに実施	

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
来園者を笑顔でお迎えし、公園の施設概要を説明するほか来園者の要請に応じて公園案内を行うなど「おもてなしの心」を提供する。 [事業計画書]	○	×	来園者が何を求めているのかを常に考えながら、困っていそうなお客様には声をかけるなど、きめ細やかなサービスの提供を心掛けた。	指定管理者からのヒアリング、アンケート資料などから実施確認。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	今後も引き続き適切な受付・接客に努める必要がある。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
公園の認知度を高めるため、ノウハウを持つ業者に外部委託し、SNSやメディアを利用して広く情報発信を行う。 近隣の福祉施設等にパンフレットを配布、利用提案をし認知拡大を目指す。 [事業計画書]	○	○	既存利用のSNSや広報ツール、メディア等を通じて広報活動を行った。なお、コロナ禍におけるイベント実施に際して参加者数を制限するなどの対応も必要であったことから、感染対策を踏まえて状況に応じた広報を行うなど一定の配慮を行った。	ホームページ、SNSページなど関係資料により実施確認。SNSについても更新頻度は高く、内容についても趣向を凝らしていた。	事業計画書及び事業報告書のとおり実施されている。	イベントの開催について、インターネット媒体による広報を重点的に行った。今後も感染リスクに配慮し状況に応じてメリハリをつけた広報に取り組む。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の保護に関する関係規定を遵守し、運営管理上必要な個人情報については、最低限の提出に留め、厳格かつ厳重に取り扱う。 [事業計画書]	○	×	報告書への記載なし。	適正に実施されている。	事業計画書のとおり実施されている。	適正に実施されている。今後とも引き続き個人情報保護に努める必要がある。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 木を知り、森を知る「木の実験教室」	○	×	×未実施		—	新型コロナウイルス感染拡大防止の 為中止。
2. 草木染め、押し葉、葉脈標本作り講座	○	×	×未実施		—	新型コロナウイルス感染拡大防止の 為中止。
3. 木工、木の 実、木の枝クラフト教室	○	×	○2回 実施		—	■8と同時開催 親子で参加するイベントとして好評 である。12/19はクリスマスリース作り、 3/27はマイ箸作り・ネイチャークラフト を実施。 開催日:12/19 参加者:20人 開催日:3/27 参加者:12人
4. 親子ふれあい ウォークラリー	○	×	×未実施		—	新型コロナウイルス感染拡大防止の 為中止。
5. ビーチコーミ ングイベント	○	×	○実施		計画通り実施	■10と同時開催 コロナ禍での開催のため完全予約 制にて実施し、参加人数を制限した。 開催日:3/13 参加者:25人
6. 農産物即売会 およびハーブ・苗 植木市	○	×	○実施		計画通り実施	■8, 12, 14と同時開催(イベント内 にて実施) ハーブ苗、ハーブ種を販売。イベ ント内販売のため参加人数は未集計。 開催日:11/14 参加者:未集計
7. 木灰そば作り 体験教室	○	×	×未実施		—	新型コロナウイルス感染拡大防止の 為中止。(講師も高齢であり飲食を扱 うイベントのため) ※代替として8のTLUDストーブ制作 体験を開催。
8. TLUDストーブ 制作体験	○	×	○2回 実施		計画通り実施	■(11/14)6, 12, 14と同時開催 ■(12/19)3と同時開催 ※7の代替 スチール缶を利用したTLUD(Top lit up draft)ストーブを制作する企画であ る。 感染症対策を講じながら複数イベ ントと同時開催するには担当の負担が 大きい。状況を見ながら単独開催も検 討する。 開催日:11/14 参加者:21人 開催日:12/19 参加者:20人
9. 平和のために 飛ばすカタパルト 飛行機	○	×	○実施		計画通り実施	初開催のイベントで、公園オリジ ナルの印刷用データを制作提供した。 専用サイトとFacebookページでの動 画公開で好評だったことから定番イ ベント化も視野に入れたい。 開催日:2/28 参加者:28人

10. 親子自然観察会	○	×	○実施		計画通り実施	<p>■5と同時開催 コロナ対策を講じ、少人数開催とした。ガイドツアーなので少人数開催とは親和性が高い。人気も高く直前の募集にも関わらず一日で予約枠が埋まる好評ぶりであった。今後は開催数を増やすことも検討したい。</p> <p>開催日:3/13 参加者:25人</p>
11. お手入れ木の見学プログラム	○	×	×未実施		—	新型コロナウイルス感染拡大防止の為に中止。
12. 平和と多様性のためのジャズコンサート	○	×	○実施		計画通り実施	<p>■6, 8, 14と同時開催 県の「新型コロナイベント開催のガイドライン」に沿って、参加者の健康チェック、マスク着用、消毒等を行い実施。</p> <p>開催日:11/14 参加者:432人</p>
13. 星空観察会	○	×	○実施		計画通り実施	<p>新型コロナ感染防止のため事前申込制を採用し、規模を大幅縮小して開催した。</p> <p>開催日:11/7 参加者:185人</p>
14. Music&Torch for Peace	○	×	○実施		計画通り実施	<p>■6, 8, 12と同時開催 火を使用するため、安全面への配慮が重要となる。</p> <p>開催日:11/14 参加者:432人</p>
15. 平和をテーマとした近隣3公園のスタンプラリー	○	×	○実施		計画通り実施	<p>「海軍壕公園」、「平和祈念公園」及び当公園を巡るスタンプラリーで2020年3月から実施。新型コロナウイルスの影響で参加者が少ない。</p> <p>開催日:通年 参加人数:54人</p>
16. 森をテーマとした森林3公園のスタンプラリー	○	×	○実施		計画通り実施	<p>「国頭村森林公園」、「県民の森」及び当公園を巡るスタンプラリーで2019年6月から実施。新型コロナウイルスの影響で参加者数が伸び悩む。</p> <p>開催日:通年 参加人数:27人</p>

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

<p>2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案</p>	<p>2. 運営業務 新型コロナの影響から年間をとおして団体利用が低調となっていることから、感染防止対策も含めた取組強化が必要である。基本的な感染防止対策の実施のほか、SNSやその他広報ツールを通じたPRや周知活動により、各種行事・イベントの復調を図り、団体利用の呼び戻しに向け取組を推進する。</p> <p>3. 自主事業 今後はイベントの企画内容のみならず、感染リスクの有無も参加者の判断材料となる。感染防止対策に十分に配慮のうえ、公園という屋外施設の利点を活かし、キャンプやフィールドワークなど参加者が安心して参加できるイベントの企画検討を行う。また、採算を意識し、集客と自主事業の継続を両立できるような運営を行う。</p>
--------------------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅱ. サービスの質の評価

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	R元評価	目標	R2評価			
維持管理業務 施設・設備管理	〈満足度〉96% 施設の管理状況について 満足 65% やや満足 31% やや不満 2% 不満 2%	〈満足度〉 80%	〈満足度〉100% 施設の管理状況について 満足 90% やや満足 10% やや不満 0% 不満 0% 〈改善要望〉 特になし	S	巡回や点検等で常に美観を意識し、業務を行っているため、好評いただいているものと認識している。 目に見えない部分も防腐剤や防錆剤などを塗布し、施設・設備の長寿命化を図っている。	現状を維持しつつ、更に快適で過ごしやすい環境を提供していきたい。
運営業務 接客対応	〈満足度〉100% Q.職員の接客について 満足 82% やや満足 18% やや不満 0% 不満 0%	〈満足度〉 80%	〈満足度〉100% Q.職員の接客について 満足 91% やや満足 9% やや不満 0% 不満 0% 〈改善要望〉 特になし	S	コロナ禍ということもあり、面と向かって接する機会は減ったが、アンケートでも好評をいただいているので今後も寄り添った対応を心がけていきたい。	新型コロナの影響により団体利用が大幅減少となった中、個人利用者や自主事業のイベントを通じた来園者らからの公園接客に対する満足度は高い。 引き続き感染防止に十分に配慮の上、団体利用の回復に努めつつ、イベントに頼らない接客を目指したい。
施設・設備	〈満足度〉92% Q.設置施設について 満足 62% やや満足 30% やや不満 4% 不満 4%	〈満足度〉 80%	〈満足度〉100% Q.設置施設について 満足 89% やや満足 11% やや不満 0% 不満 0% 〈改善要望〉 遊具の増設。 木陰がもう少しあるとよい。 キャンプができるとうい。 トイレ、水道の増設。 売店の設置。	S	コロナ禍において屋外施設の利用が再注目されており、以前にも増してキャンプ需要が高まっていると感じる。「不便さ」を楽しめる施設ではあるものの、「もう少し」の快適さが望まれている。	新規の遊具設置や東屋等による日陰の創出等、現状に満足しているものの、より快適に期待する声がある。しかしながら、何も無いのが良いという意見や、自然を楽しめる環境を評価する声も根強く、双方の意見を満足するようなアイデアを模索する必要がある。 この他、ニーズの高いキャンプ利用をはじめ屋外施設を活かしたイベント等についても検討を進めたい。
利用条件	〈満足度〉96% Q.閉園時間について 満足 63% やや満足 33% やや不満 2% 不満 2%	〈満足度〉 80%	〈満足度〉97% Q.閉園時間について 満足 79% やや満足 18% やや不満 3% 不満 0% 〈改善要望〉 開園時間をもっと伸ばして欲しい。(19時頃まで)	S	開・閉園の時間に不満を感じている利用者が多い。	「開園時間の延長」については、主に駐車場の施錠についての意見だと思われるが(徒歩で出入りは可能)、『閉園時間』を設けていることを鑑みても、警備上の理由により実現は困難かと思われる。

自主事業	<満足度>100% Q.自主事業について 満足 100% やや満足 0% やや不満 0% 不満 0%	<満足度> 80%	<満足度>100% Q.自主事業について 満足 91% やや満足 9% やや不満 0% 不満 0%	S	新型コロナウイルスの影響で計画していたイベントの一部が中止となってしまった。今後は対策を講じながら実施方法を模索する必要がある。 また、過去の運用委員会での指摘を受け、自主事業は収益目的から集客目的としたイベントにシフトし、公園の周知・広報活動を意識して行っている。	令和2年度は新型コロナの影響により大規模イベントが中止になり、利用者数にも大きな影響が生じたが、県ガイドラインに沿った感染防止対策を講じ可能な範囲でイベントを実施しており、概ね好評を得ている。 引き続き感染防止対策に十分に配慮の上、自主事業をおとした公園の周知・広報活動を行い、公園利用者数を増やしていきたい。
総合評価 (各評価項目の平均)	<満足度>97% (※1)	<満足度> 80% (※1)	<満足度>99%	評価 (②満足度) S	満足度は高い状態で推移している。特に公園の美観については「いつもきれいですね」とお声をいただくことが多い。今後も快適に利用できるよう努める。	総合的に公園に対する満足度は高いが、アンケートの大部分はリピーターから構成されていることから、初めての来園者などの声も積極的に拾う工夫も必要である。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1: 満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段の割合、3段階評価の場合上位の割合)
 ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案	コロナ禍においてもサービスの満足度は高い水準を維持できている。引き続き感染防止対策に配慮しながら、利用者のニーズに注視し取り組む。 併せて、認知度向上につながるような取組も継続していく予定である。
-----------------------	---

※「Ⅱ. サービスの質の評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目	R元実績	事業計画	R2実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	150,100	164,000	114,700	76.4%	69.9%	
指定管理料	33,507,000	33,814,000	33,814,000	100.9%	100.0%	
他の会計からの繰入	970,000	0	0	0.0%	—	
小計(A)	34,627,100	33,978,000	33,928,700	98.0%	99.9%	
自主事業収入	547,825	873,000	524,966	95.8%	60.1%	
事業雑収入	62	0	83	—	—	
合計(A)	35,174,987	34,851,000	34,453,749	97.9%	98.9%	
(現状分析・課題)						
<p>利用料金収入は、新型コロナの影響から昨年度実績を下回り、計画額(164,000円)を達成できなかった。 また、自主事業収入については、概ね昨年度並みの実績額となったものの、当初の事業計画は未達成となった。要因としては、新型コロナの影響により計画していた大型自主事業イベントが中止となったことや、遊具等の有料貸出に伴う計画と実績の乖離によるものである。アフターコロナ、ウィズコロナの時代に配慮したイベント企画を工夫しつつ、適宜計画の見直しを図る必要がある。</p>						

(2) 支出

支出項目	R元実績	事業計画	R2実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項
人件費	17,463,050	18,508,000	18,584,940	106.4%	100.4%	
消耗品費	671,321	600,000	1,291,187	192.3%	215.2%	
印刷製本費	25,020	50,000	0	—	0.0%	
通信運搬費	299,209	260,000	285,745	95.5%	109.9%	
保険料	73,708	150,000	78,800	106.9%	52.5%	施設災害保険料
租税公課	1,572,616	1,500,000	2,026,903	128.9%	135.1%	収入印紙、自動車税等
広告料	70,945	180,000	87,423	—	48.6%	
事務費その他	10,626	16,000	22,407	210.9%	140.0%	支払手数料
燃料費	481,460	473,000	354,636	73.7%	75.0%	
光熱水費	2,230,494	2,400,000	1,700,673	76.2%	70.9%	
修繕費	2,432,521	2,479,000	2,096,992	86.2%	84.6%	
委託料	6,121,316	4,100,000	4,108,337	67.1%	100.2%	警備、電気保安管理等
委託料(広報)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	—	100.0%	
使用料及び賃借料	819,318	853,000	1,069,226	130.5%	125.3%	
備品購入費	0	250,000	223,300	—	89.3%	
その他管理費	1,005,173	770,000	675,893	67.2%	87.8%	原材料費を統合
小計(B)	34,476,777	33,789,000	33,806,462	98.1%	100.1%	
自主事業支出	268,459	343,000	160,418	59.8%	46.8%	
合計(B)	34,745,236	34,132,000	33,966,880	97.8%	99.5%	
(現状分析・課題)						
<p>常駐警備を機械警備に転換し、警備費の削減を行った。また上水道の漏水修繕やコロナによる臨時休園などにより、光熱水費についても削減が図られた。修繕費は年度後半にコロナ禍の影響で部品の一部が納品できず、修繕を持ち越したため計画未満の実績となった。</p>						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	R元実績	事業計画	R2実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入合計(A)-支出合計(B))	429,751	719,000	486,869	113.3%	67.7%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	1.22%	2.06%	1.41%	115.7%	68.5%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入合計(A))	0.43%	0.47%	0.33%	78.0%	70.7%	
人件費比率 (人件費/支出合計(B))	50.3%	54.2%	54.7%	108.9%	100.9%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出合計(B))	17.6%	15.5%	15.6%	88.7%	100.6%	
利用者あたり管理コスト (支出合計(B)/利用者数)	501	495	619	123.7%	125.1%	R元利用者 69,406人 R2利用者 54,870人
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	483	490	616	127.7%	125.8%	R元利用者 69,406人 R2利用者 54,870人
(現状分析・課題)						
事業収支及び収益率については、昨年度比で若干の増となったが、いずれも計画値は未達成となっている。また、管理費コスト及び自治体負担コストについても、同様(昨年度比:増、計画値:未達成)であった。これらについては、いずれも新型コロナウイルスの感染拡大に伴う行事やイベント等の中止による利用者及びイベント収入等の減少の影響によるものである。						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準(③財務状況)】
収益率(事業収支/収入合計)
A: 0%以上
B: -5%以上、0%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	コロナ禍で利用料収入が望めない中、委託料や光熱水費等の経費削減による収支改善の効果は大きい。サービス水準を維持しつつ、引き続き効率的・効果的な予算執行に努めたい。 また、利用者の早期回復に向けて、感染防止対策の強化を含め様々な方法を検討していきたい。
----------------------------------	--

※「Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R3年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。 また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	2019 (R元)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	66,000	69,000	73,000	76,000	目標数値は事業計画より参照 ※2018～マヤアブ洞内立入禁止のため数値を修正
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	80%以上
財務指標	③財務状況	収益率	0%	0%	0%	0%	0%以上

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R元実績	事業計画 (目標値)	R2実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R3年 目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	利用者数	69,406	69,000	54,870	79%	80%	新型コロナウイルス感染拡大の影響が強く出た結果大幅な利用者減になっており、目標値を達成できなかった。 特に、団体利用において影響が大きく、年間を通して利用が低調となっている。	C	新型コロナウイルスによる影響は今後も長期化することが予想されることから、アフターコロナ、ウィズコロナの時代を見据えた取組強化が必要となる。 基本的な感染防止対策の実施のほか、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施可能なキャンペーンやフィールドワーク等のイベントの企画検討、また、これらにかかるSNS等を利用した周知広報について取組の強化を図りたい。	73,000
	②満足度	満足度	97%	80%	99%	102%	124%	総合的に公園に対する満足度は高いが、アンケートの大部分はリピーターから構成されていることから、初めての来園者などの声も積極的に拾う工夫も必要である。	S	サービスの満足度は高い水準を維持できている。今後も慢心せずに取り組んでいきたい。 今後は定期イベントやSNS等を活用し、利用者とのコミュニティを形成するなど認知度向上とニーズ把握のための新たなアプローチも模索していきたい。	80%
財務指標	③財務状況	収益率	1.22%	0.00%	1.41%	-	-	昨今の人件費高騰を受け、警備体制を一部機械警備に変更したことにより委託費が大幅に改善された。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う臨時休園の影響のほか、上水道の漏水修繕等により光熱水費も削減された。	A	コロナ禍で利用料収入が望めない中、委託料や光熱水費等の経費削減による収支改善の効果は大きい。サービス水準を維持しつつ、引き続き効率的・効果的な予算執行に努めたい。 また、利用者の早期回復に向けて、感染防止対策の強化を含め様々な方法を検討していきたい。	0%以上
活動指標	④重点取組事項	広報活動件数 (facebook投稿件数)	123	52	113	92%	217%	昨年度に引き続き、目標件数は達成した。フォロワー数も増加しており、公園の認知度向上に貢献している。一方で、記事投稿のネタ切れや内容のマンネリ化が課題。	S	定期イベントに連動させた投稿を行い、利用者とのコミュニティ形成を目指すなど、引き続き工夫を凝らしながら取組を推進する。 今後も広報活動に注力し、公園の認知度向上の努める。	52以上

総合評価

A

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「H30目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S：110%以上

A：100%以上、110%未満

B：80%以上、100%未満

C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

S：90%以上

A：80%以上、90%未満

B：70%以上、80%未満

C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

A：0%以上

B：-5%以上、0%未満

C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S：目標を大きく上回る

A：目標を概ね達成

B：目標を下回る

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 <small>かつ各評価項目において C評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

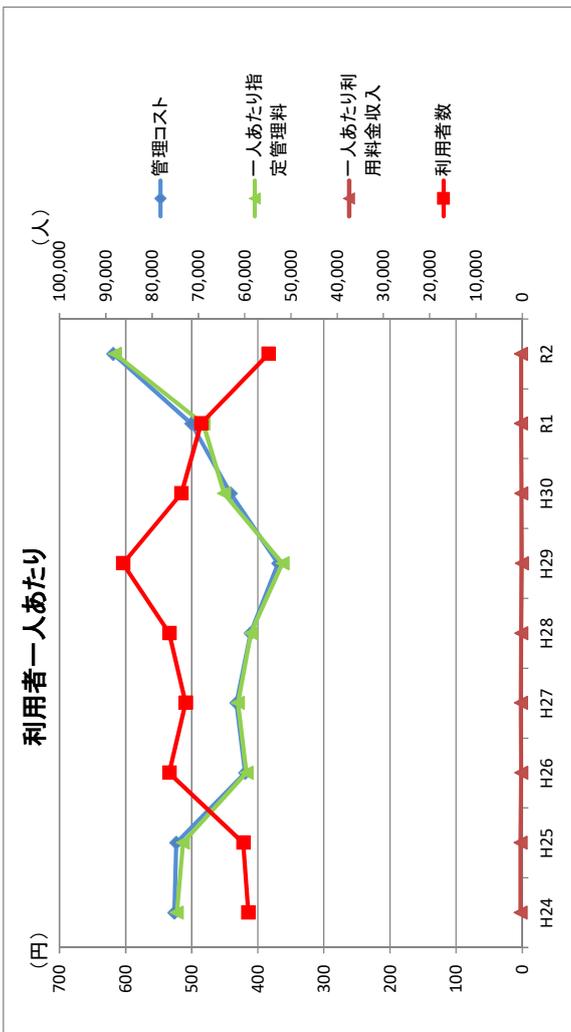
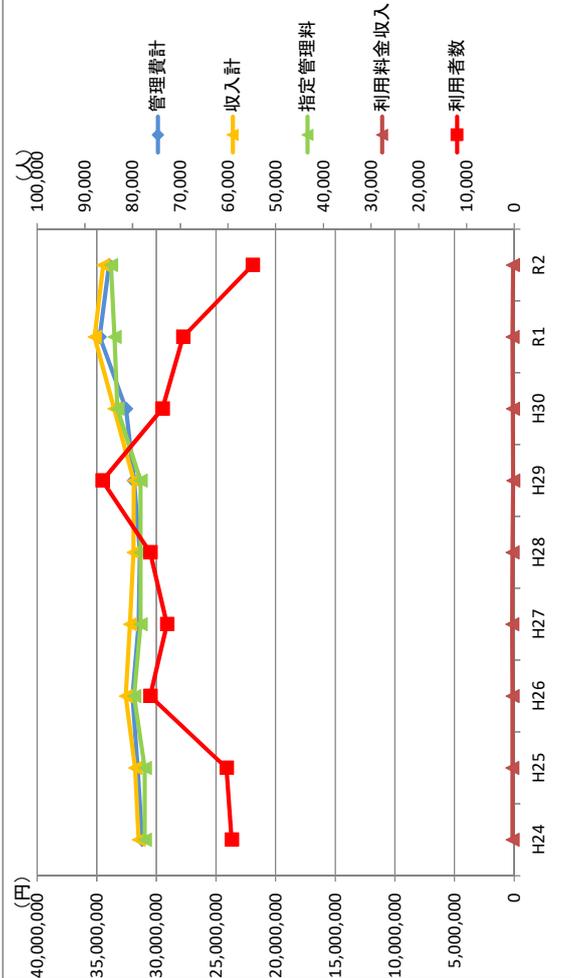
<各評価項目点数>

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

施設名称：沖縄県平和創造の森公園

指標	直営										指定管理									
	単位	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
成果指標	利用者数	実績																		
	目標																			
	目標比 H24比																			
財務指標	指定管理料	円									60,322	76,323	72,784	76,305	86,308	73,711	69,406	54,870		
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%									102%	127%	95%	105%	113%	85%	94%	79%		
	利用料金収入	円									30,975,000	31,860,000	31,320,000	31,320,000	31,320,000	33,264,000	33,507,000	33,814,000		
	利用料金比率(利用料金/収入計)	%									99.3%	98.1%	99.5%	99.8%	98.2%	102.2%	96.4%	99.5%		
	自主事業収入	円									158,300	169,050	172,250	149,150	93,550	120,200	150,100	114,700		
	雑入等	円									351,453	339,758	0	421,716	474,203	164,128	547,825	524,966		
	収入計	円									0	299,165	552,267	719,261	30,850	31	970,062	83		
	管理費計	円									31,484,753	31,782,973	32,558,667	32,211,511	31,921,716	31,887,784	33,548,421	35,174,987	34,453,749	
	収支	円									31,190,271	31,581,811	32,006,400	31,492,250	31,379,805	31,880,987	32,539,175	34,745,236	33,966,880	
	収益率(収支/収入計)	%									0.9%	0.6%	1.7%	2.2%	1.7%	0.0%	3.0%	1.2%	1.4%	
一人あたり管理コスト	円									526	524	419	433	411	369	441	501	619		
一人あたり指定管理料	円									523	513	417	430	410	363	451	483	616		
一人あたり利用料金収入	円									3	3	2	2	2	1	2	2	2		

※施設毎に、経営状況を分析する上で必要となる指標の加除可



特記事項 ※年度毎の変動について要因分析を記載

H30年度	当初の利用者数の目標値を80,000人としていたが、ガマ利用が停止となったため、H29年度がマ利用者数17,000人を差し引いた73,000人をH30年度目標とした。
H29年度	前年度比11.3%増を達成した。
H28年度	前年度比11.3%増を達成した。
H27年度	前年度比10.5%増を達成した。

目標設定の考え方 ※目標設定の根拠や考え方などを記載

H31年度	前年度比5%増を目標
R2年度	前年度比5%増
R3年度	前年度比5%増
R4年度	前年度比5%増